

「働き手不足1100万人」 2040年の日本が直面する 危機と希望

日本では、現役世代の急減と高齢人口の増加が並立する人口動態の時代が始まろうとしています。既に人口減少は始まっており、社会において高齢人口の割合が高まるということは、必要な労働力の需要と供給のバランスが崩れ、慢性的な労働供給不足=「労働供給制約社会」に直面することになります。物流や建設・土木、医療・介護・福祉など、私たちが日々恩恵を受けている「生活維持サービス」が縮小し、とりわけ地方に暮らす私たちの生活は大きなダメージを受けることとなります。今回の研究会では、2040年の生活をどう持続可能で豊かなものにしていくか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



2024年 **10月26日** (土) 14:00より
自治労とやま会館 3F 大会議室

どなたでも自由に参加いただけます。定員は50名です。
下記FAXかメールにて、事前にお申込みください。



●講師紹介
坂本 貴志(さかもと・たかし)さん

1985年生まれ。リクルートワークス研究所 研究員/アナリスト。
一橋大学国際・公共政策大学院公共経済専攻修了。厚生労働省にて社会保障制度の企画立案業務などに従事した後、内閣府で官庁エコノミストとして「経済財政白書」の執筆などを担当。その後、三菱総合研究所エコノミストを経て、現職。著書に「ほんとうの定年後」(講談社現代新書)、「統計で考える働き方の未来」(ちくま新書)がある。

●お申し込み・お問い合わせ

公益社団法人
富山県地方自治研究センター

〒930-0804 富山市下新町8番16号
TEL (076) 441-0375 FAX (076) 441-1155
E-mail : jichiken-t@jcr-toyama.jp



●交通のご案内
徒歩 / JR富山駅北口より15分
地鉄バス / 興人団地行き双葉町下車
駐車場 / 80台収容(無料)